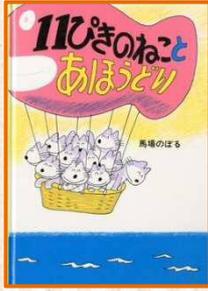


大好き！絵本

初瀬 恵美



『11匹のねこと
あほうどり』
さく・え：馬場のぼる
出版社：こぐま社

先月の「大好き！絵本」で紹介したダッチオーブンで焼いた「ぐりとぐらのカステラ」は、表面が少し焦げてしまいましたが、焦げをとると、とってもきれいな黄色のカステラができあがりました！フェイスブックでご覧になられた方もいらっしゃると思いますが、とっても、おいしく、楽しくできました(^ ^)

さて今月は、畑でとれたじゃがいもを使って、『11匹のねことあほうどり』にでてくる「コロッケ」を再現する予定です！！そこで、今月は『11匹のねことあほうどり』を紹介したいと思います。

11匹のねこが、コロッケの店を始めました。最初は大繁盛だったのですが、次第に売れ残るようになりました。ねこたちは毎晩、売れ残ったコロッケを食べました。そして、見るのも嫌になってきて「おいしい鳥の丸焼きが食べたいねえ」と話していた時のことです。なんと、旅の途中の一只のあほうどりがやってきました。あほうどりは、コロッケを食べ終わると、あまりのおいしさに「こんな すてきなコロッケを くにの きょうだいにも たべさせてやりたいものだ」とつぶやきました。そこで、あほうどりの国に行き、コロッケを作ってあげることになりました。もちろん、コロッケを食べさせるというのを口実に、あほうどりの兄弟を食べてしまいたいという下心をもった行動です(笑)。ところが、あほうどりの兄弟に会ってびっくり！！予想外の出来事がおきるのです。その面白さと、「やっぱりね～」というオチが、この絵本の面白さです。

この絵本は、子どものみならず、職員も大好きです！この絵本の再現をすることを、職員会で伝えると、とっても盛り上がりました。「実際に子どもたちとコロッケを作りたいね！」「今日もコロッケ、明日もコロッケって、一週間くらいコロッケメニューにして、ねこたちと同じようにコロッケ見るのもうんざりっていう気分を味わうとか？」「こどもたちがあほうどりの役をして、すすくさんから順番に、一わ、二わ…って出てくる？そして、最後は誰か大人が11わあって、出てくる？」などなど、話が尽きませんでした。畑のじゃがいもが育ったら、子どもたちと再現ごっこを楽しみながらコロッケを作って食べたいと思います。

